

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

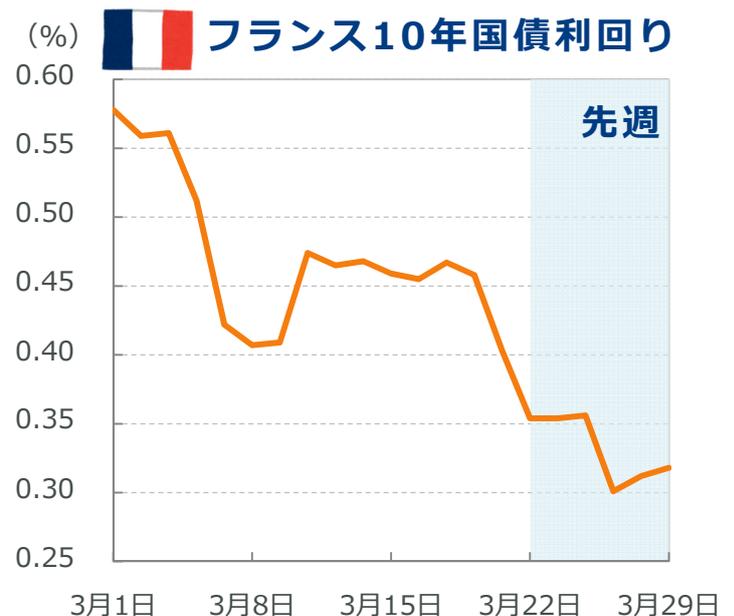
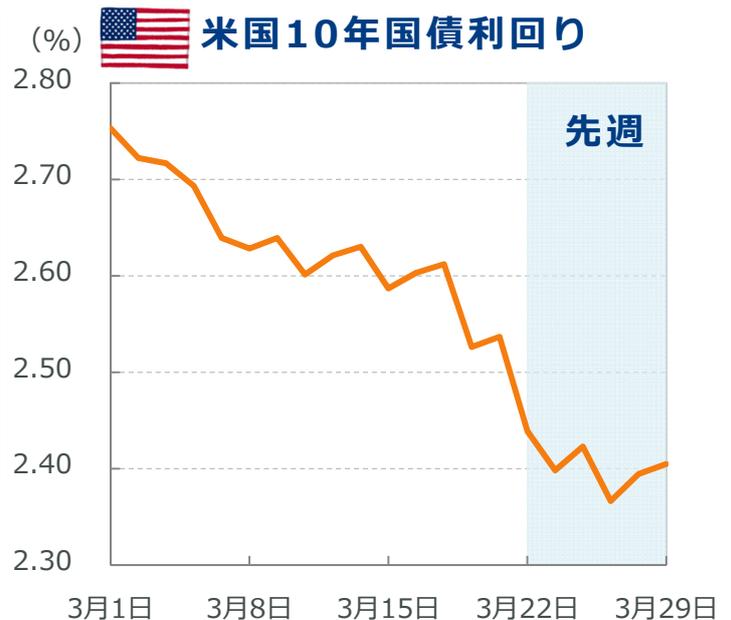
POINT 先進国国債利回り

※データ期間は2019年3月1日から2019年3月29日（日次）

【2019年3月25日～2019年3月29日】

国債利回りはいずれも低下

◆米国の2018年10-12月期GDP（確定値）の下方修正を受けて米経済の減速が鮮明となり、資金の逃避先として米国債の買いが進んだことなどが、世界的な国債利回りの低下につながりました。



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

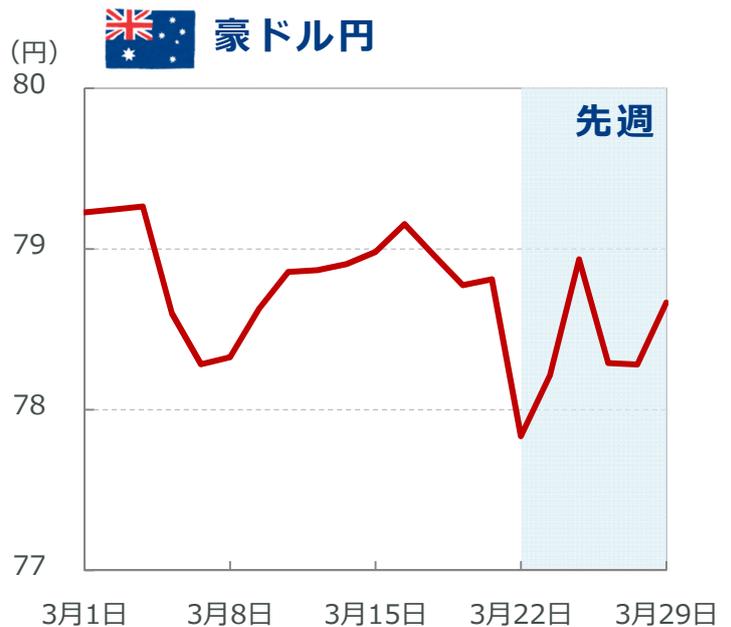
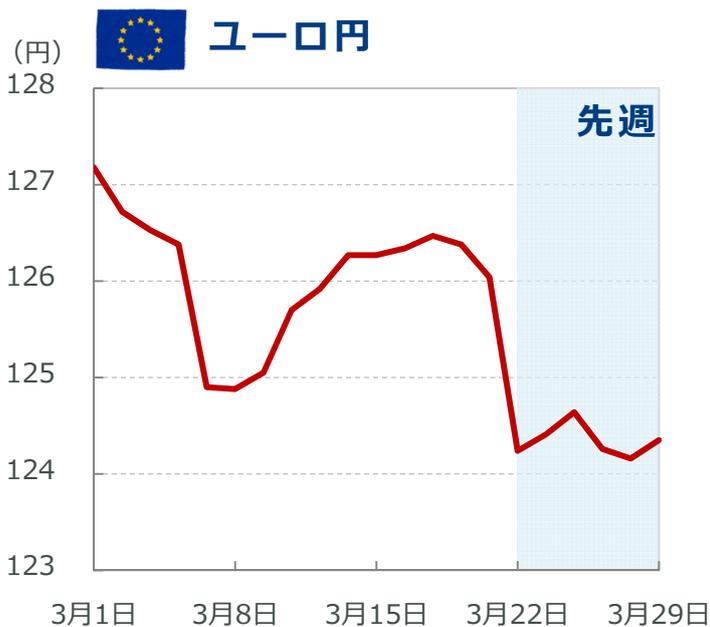
POINT  **為替**

※データ期間は2019年3月1日から2019年3月29日（日次）

【2019年3月25日～2019年3月29日】

円が全面安

- ◆米中通商協議への進展期待や年度末の資金需要などを背景に米ドル買いが優勢となり、円は対米ドルで下落しました。
- ◆英国のEU離脱を巡る政治的混迷が嫌気される中、円は対ユーロでは売買が交錯し方向感に乏しい展開となりました。



出所：Bloomberg 2/2

■当資料は情報提供を目的として三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。